

令和4年度 児童発達支援・放課後等デイサービス評価表 【事業者向け】

公表：令和5年3月20日

多機能型事業所 てとて(児童発達支援・放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	対策等
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			・今は足りているが、来年度体制が変わった時に、教室のスペースが窮屈にならないか疑問がある。	・プログラムの流れや環境構成の見直し等で対応していく。
	②	職員の配置数は適切であるか	5			・個別での対応が多い日は、足りないと思うこともある。 ・今後、利用児童が増えれば、不安はある。	・来年度の職員配置は、より余裕のある人員配置を検討している。 ・スタッフ一人ひとりのスキル向上により改善できるところもあると考えているため、研修等をいれていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	5				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5				
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5				
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		1	・公開まではしていないが、保護者からの声をすぐに職員へ周知し業務の改善に繋げている。	・年度末のアンケート結果は、ホームページにて公開しております。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4		1	・他事業所や保健師などからアドバイスを頂いて参考にしている。	・関係機関との連携はこまめにとれているため、引き続き行っていきたい。第三者評価は実施していないため、今後検討する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5				
	⑪	子ども達の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5				
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5				
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5				
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5				
	⑰	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		1	・翌日に必ず支援の振り返りを行い、情報共有をしている。また、退勤後にその日の療育内容のすり合わせを自主的に行っている。 ・午前療育になると、午後療育の反省に参加できなくなるので、様子が見えなくなるのではと不安はある。	・打ち合わせは、必ず毎朝行うようにしている。 ・毎週金曜日の午前に全体会議をしている。次年度は、担当制を取り入れ、午前午後それぞれの利用児童を把握するようにする。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5				
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5					
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5				

関係機関や保護者連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				・該当しません	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				・該当しません	
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			・機関連携を受け入れてくれる園とは、行えている。	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1		・就学先への移行支援はできていない。	・年度末ということもあり、移行支援の資料作りが昨年度はできずにいた。その反省を生かして、前もって作成していくように努める。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5				・今年度は、前期に他事業所との研修会を行う
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5		・コロナ過のため、外部との関りを自粛しております。 ・交流方法を検討していきたい。	・コロナが収束したら、検討していきたい。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	4			・ケース会議が開催された際には、積極的に参加するようになってきた。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5			・コロナの感染状況によって回数は少ないが、可能な限り時間を確保して行っている。(親子通所)	・今年度より親子通所を開催し、保護者と共に支援について考える時間や事業所での療育を実際に見て体験して頂く時間を設けることができた。ペアレントトレーニングについては、支援員の理解を深められるよう研修など実施していきたい。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5				
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5				
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4		・親子通所を開始し、保護者同士が繋がれる場を設けることはできた。	・今年度から親子通所を開始し、保護者同士の交流ができる場を設けたが、コロナ禍ということもあり、中止することが多くあった。今後は、保護者同士の交流が持てる場の提供を目指していきたい。
	㉝	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			・ホームページにて知らせている。	
	㉟	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5			・気を付けていても取り違え等のミスが起こるので注意をする。	・2重チェックなど、ミスが起きないように十分に注意していく。
	㊀	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5				
	㊁	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5		・コロナ禍ということもあり難しい。 ・感染状況やプライバシーの観点から難しさがある。	・保護者様の同意を得て、外部との交流を検討していきたいと思えます。
	㊂	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、発生を想定した訓練が実施しているか	5			・研修の実施、避難訓練の実施で共通理解を図っている。	・共通理解ができていないスタッフもいたため、次年度はより細かく認識できるよう努める。
非常時等の対応	㊃	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか	5			・避難訓練などは実施している。 ・防犯マニュアルは閲覧したことがない。	・防犯対策については、非常災害計画にまとまっていることの周知が必要。
	㊄	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5				
	㊅	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	5				
	㊆	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	3		・業務日誌に毎日記載している。	・毎日の打ち合わせにて、ヒヤリハットの確認をし、事務日誌に記入して、全スタッフが把握できるようになっている。
	㊇	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				
	㊈	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	3		・現在は該当児がいない。	・身体拘束適正化についての事業所マニュアルの読み合わせや研修を実施してきたが、内容の把握ができていない職員もいたため次年度は、より細かい内容の研修を実施していきたい。